

資料目次

資料 1 教職大学院が目指す教師像と地域の求める教師像

資料 2 教育学研究科授業科目一覧

資料 3 要望書（埼玉県教育委員会）

資料 4 要望書（さいたま市教育委員会）

資料 5 サブプログラムごとのカリキュラム

資料 6 教職大学院担当教員の適格性に係わる指標

資料 7 平成 30 年度認証評価結果（抜粋）

資料 8 国立大学法人埼玉大学教育学部教員養成における諮問会議規程

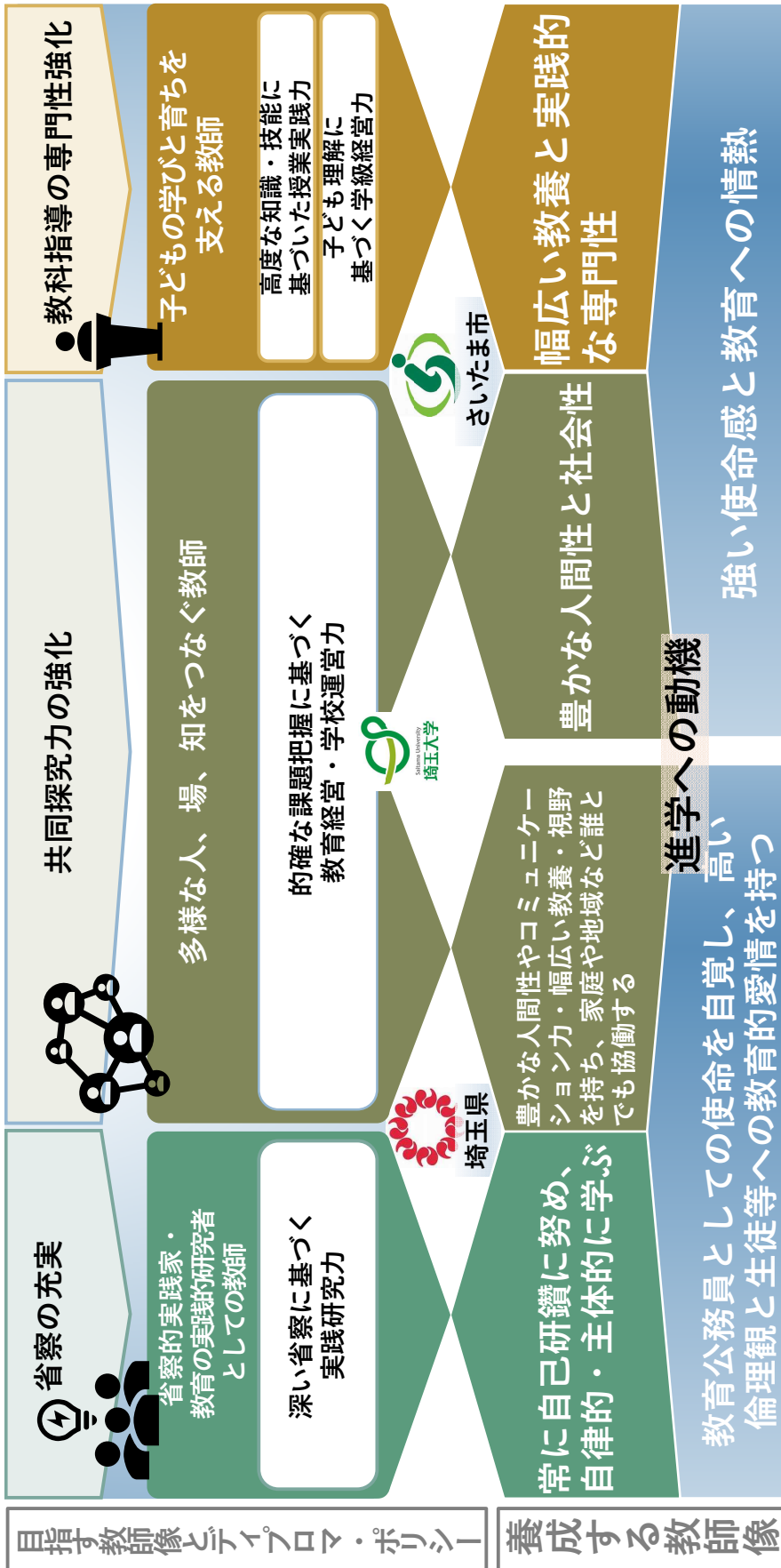
資料 9 国立大学法人埼玉大学大学院教育学研究科教職実践専攻における教員養成に関する諮問会議規程

資料 10 国立大学法人埼玉大学大学院教育学研究科委員会規程

資料 11 認証評価受審に関する証明

資料 12 教育実践 Forum

資料 1 教職大学院が目指す教師像と地域の求める教師像



【埼玉県・さいたま市の教育課題】

- ・ 地域（都市部・郡部）によって異なる学校教育課題に丹念に向き合い、学校につながる人々と関わって解決を図ることが必要。
- ・ 児童生徒と地域とのつながりが希薄で、地域への理解や愛着が深いとは言えない。
- ・ 外国籍の子どもの文化的背景を尊重し、分断なく地域のなかで共に生きていく市民として育てていくことが必要。
- ・ 発達の課題を抱える子どもたちの特別なニーズに対し、きめ細かく応えることができる教育の実現に向けて、教員はその力量を向上させなければならない。
- ・ 少子化や多忙化によって、子ども同士の良好な関係性が構築しづらい状況にある。
- ・ 学力向上や授業改善をさらに強化すると同時に、新しい領域に対応する教育内容や教育方法の開発が必要。
- ・ 教員の年齢構成が若年層に偏り、学校改革を担う校内のミドルリーダーの育成が急務。
- ・ 教職員がチームとなって協働し、学校内外の他職種や関連機関とも連携することが必要。
- ・ 他校種間の交流や情報交換にとどまらず、校種を越えた連携や取り組みの継続を促進することが必要。

